

独立行政法人日本スポーツ振興センター
令和6年度第1回契約監視委員会審議概要

1 開催日

令和6年6月5日（水）15時00分～16時00分

2 開催場所

外苑事務所大会議室1

3 出席委員（敬称略）

委員長 相葉 和良（弁護士）

委員 宮本 和之（公認会計士）

委員 児玉 進矢（監事）

委員 大橋 玲子（監事）

4 議題

- （1）令和5年度調達等合理化計画の自己評価に関する点検について
- （2）令和6年度調達等合理化計画の策定に関する点検について
- （3）その他

5 審議概要

（1）令和5年度調達等合理化計画の自己評価に関する点検について

令和5年度調達等合理化計画の自己評価に関する点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆一者応札・応募の改善

（質問）一者応札の状況は改善されているのか。

（回答）令和4年度1者だったが、令和5年度に複数者応札となった案件も何件かあるが、新たに一者応札になってしまう新規案件もあるため、件数としてあまり変化はない。なお、一者応札が続いている案件は、業者へのヒアリングを行い、仕様に改善できる箇所がないかの検討や、公告期間を長くするなど、何らかの改善をするように努めている。

（質問）年度ごとの一者応札の割合はどうなっているのか。

（回答）割合はあまり変わっていない。どこでも参加できるものではない案件が一者応札となるため、調達依頼部門とも対策について相談はしているが、難しい面もある。

（質問）今まで複数者だったのが、1者になってしまった案件は増えているか。

（回答）一度複数者になったものの、次年度は入札に参加しないという案件は毎年一定数ある。

（質問）発注見通しの事前公表について、発注の事前公表をしたかどうかだけではなく、どの程度前倒して公表できたのかということを検証すべきではないか。

(回答) 依頼部門の予算確保の状況にもよるところもあり、発注見通しの公表前倒しはなかなか難しい面がある。

(質問) 毎年調達する案件であれば、前回の調達よりも早めに公表ができれば、実質的に効果があると考えられ、その点が重要なのではないか。

(回答) 公告期間が短い中、可能な限り事前公表をすることで、一定の効果はあるものと考えている。その上で、事前公表もなるべく早めに行うよう努めていきたい。

(質問) 平均してどれくらい前に公表しているのか。

(回答) 公告の1、2か月前に公表しているが、大規模な案件については、半年以上前に公表した事例もある。

(2) 令和6年度調達等合理化計画の策定に関する点検について

令和6年度調達等合理化計画の策定に関する点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

◆競争性のない随意契約の件数について

(質問) 例年前年度末に契約している中央競技団体への委託事業が当該年度の契約となったため、随意契約の件数が増加したとのことであるが、その要因は。

(回答) 令和4年度中に事業の在り方の見直しに時間を要したため、当該年度に契約がずれ込んだことが要因となっている。

(3) その他

特になし。